

# 実施報告 公共ホ－ル音楽活性化支援事業



アーバンサクソフォンカルテット

Urban Saxophone Quartet

# SUMMER CONCERT

サマーコンサート

**アクティビティ** 国立市立第八小学校  
2021年7月1日(木)  
4年1組 9:40 ~ 11:25 / 4年2組 10:45 ~ 11:30

**アクティビティ** 国立市立第二小学校  
2021年7月2日(金)  
4年1組 10:45 ~ 11:30 / 4年2組 11:35 ~ 12:20

**ホール公演** **SUMMER CONCERT**  
2021年7月3日(土) 11:00 ~ 12:00 / 16:30 ~ 17:30

主催：(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団 助成：(一財)地域創造 後援：国立市教育委員会 制作協力：(一社)日本クラシック音楽事業協会  
お問合せ くにたち市民芸術小ホール 〒186-0003 東京都国立市富士見台 2-48-1 TEL:042-574-1515 E-MAIL:hall@kuzaidan.or.jp

# 公共ホール音楽活性化事業

## (おんかつ)とは

「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」はクラシック音楽の演奏家を地域に派遣し、アクティビティ(参加体験型の地域交流プログラム)と公共ホールでのコンサートを共につくる事業です。アクティビティは普段、クラシックの演奏会に足を運ばない人に興味を持ってもらうため、様々な工夫を凝らした訪問コンサート企画です。コンサートは、アクティビティで触れあった地域の方々へ、アーティストとホールの担当者によるオリジナリティ溢れるコンサートを実施します。国立市ではこのおんかつ事業を2008より実施、さらなる定着を目指しています。



▲第八小学校 / 登場と共に演奏

## 企画・制作・運営

昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症に対する対応が求められ、感染予防対策だけでなく刻一刻と状況が変化し、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置など、常に臨機応変に対応することが求められた。この状況だからできることとして、学校・教育委員会の協力を得て、Google社G SuiteシステムのGoogle Classroomを使い対象クラスへ動画を提供、保護者に直接視聴してもらえるという試みができ、連携手法の可能性も広がった。今年度も感染予防のための、ホールの定員制限と観客の不安軽減を考えて、休憩なしの60分公演(入れ替え制)を2回実施すること、アクティビティでは語りかけの際にマスク着用を徹底し、それ以外の部分では適切な距離を保つことで効果的な演出を取り入れた。アクティビティ/ホール公演の内容に関して、Urban Saxophone Quartet(以下USQ)のメンバーとメールで直接やりとりし、サクソフォン四重奏曲に編曲した各校の校歌をプログラムに取り入れるなど、オリジナリティ溢れる内容を組み立てた。

▼第八小学校 / 楽器紹介



▲第二小学校 / 校歌

## アクティビティ

### 演奏曲目

シバの女王の入城(登場と共に演奏) / G.F.ヘンデル

各校校歌

サクソフォン四重奏曲 第2楽章より 第4変奏 / A. グラズノフ

かくれんぼ / R. クレリス

エスクアロ / A. ピアソラ

民謡風ロンドの主題による序奏と変奏 / G. ピエルネ

昨年度の反応から今年度も各校の校歌を取り入れたが、昨年以上の好反応。一方通行になりがちな鑑賞プログラムとは違い、人の手が加わった内容に子どもたちも感動だけでなく、親近感を覚え、心を開いてじっと聴く姿が見られた。グラズノフのサクソフォン四重奏曲～エスクアロまでの3曲は、ディスカッションを取り入れたプログラム。曲を演奏する前に想像を促すような語りかけを入れたり、演奏後に湧き出した想像を子ども同士で意見を聞きあうことによって新たな音楽の楽しみ方を知るだけでなく、演奏から感じたことを表現する喜び、他者の意見に刺激を受け視野が広がることなど、距離の近いアクティビティだからこそ体験できるプログラムを実施できた。



## ホールコンサート

### 演奏曲目

『展覧会の絵』より"プロムナード" (演奏しながら登場)

『フィガロの結婚』より"序曲"

セビリア

民謡風ロンドの主題による序奏と変奏

エスクアロ

ラテン・メドレー

ミシェル・ルグラン・メドレー

EC 情熱大陸



昨年度と同様、アクティビティに参加した児童たちが連れだって来場する様子が見られたほか、今年はさらに家族を伴って訪れる児童もいて、動画資料の影響も表れていたと思われる。ホールエントランスではアクティビティのスライドを放映し、待ち時間に保護者や地域の市民に取り組みが伝わるよう工夫。



観客目線にたって楽しめるプログラムを！ 当ホールの機構だからこそ可能な演出を！ を合言葉に、様々な演出をアーティストと制作・舞台共に連携し考える機会が得られた。

### 《実施した演出》

オープニングにスモークと後方から客席へ走る光線で**後光を模した演出**。(A)

アーティストの立つ座るを取り入れた演出提案の際、椅子を移動せず**舞台分割により創出した段差**を利用。(B)

後半のメドレー 2 曲では**舞台から客席までをLEDで染め**、ミニブルと呼ばれるライトで足元から照らした**影の演出**。(C.D)

ミラーボールを使用して**一体感を演出**。(E)

チェイスと呼ばれる一定時間で色を変えるなどしたLEDと**相乗効果を生み出すよう計算した背景映像**。(F)



担当者、舞台スタッフ、アーティストとで公演を作り上げる過程を経験でき、演出の工夫を凝らした満足度の高いプログラムをお客様に提供することができた。

すべての曲が取り立てて著名な曲でないにも関わらず「時間が短く感じられた」「最初から最後まで飽きることなく楽しめた」などの意見をいただき、クラシックコンサートでも演出の幅の可能性を模索することができた。



## アンケート

入場者数 123 名のお客様から 77 枚のアンケートをいただきました。公演の満足度を問う質問に対してとても良かった (94%) と良かった (6%) と満足を表す回答 100%となり、再演を熱望する声も多くいただきました。

アンケートより抜粋 (原文ママ)

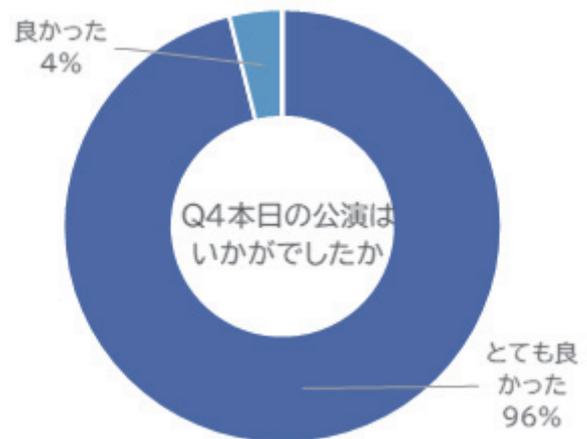
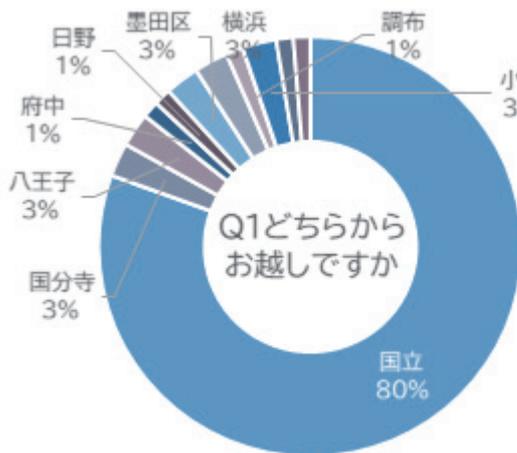
学校で1回聴いてみて「すごい!!」と思った。コンサートに行って聴いてみたら迫力があって「すごくうまい!」と何度も思いました。また学校に音かつしに来てください。また詳しく説明してくれたので曲名の意味などが良く分かりました。

音が綺麗で何回でも聴きたくなる。すごく音楽が好きになった。

前回2月の公演がとても良かったので、又、娘も又聞きたい!との事で来ましたがまたまたとても感動しました!演奏の技術と、音楽を楽しむ気持ちが伝わって来、前回はひきつづき涙しました(笑)各国のメドレー楽しかったです!

演出やお話もよかったです。またききたいです。

期待を超える完成度とパフォーマンスでとても楽しかったです。世界を旅した心地になりました。



## 課題及び今後の取り組み

新型コロナウイルス感染症によるまん延防止等重点措置状況下での開催に際し、前年度の課題を踏まえ、アクティビティ児童を招待する方法についてWEB受付を実施。大きなトラブルもなく概ね功を奏したが、WEB受付の告知方法を工夫するなど、さらに参加者に寄り添った方法を模索する必要がある。チケットをインターネット購入したお客様がモバイル提示にて来館、非接触入場はホールとして初実施となった。今後チケットに関して、精算方法や入場方法が多様化してくる流れに対応できるようにする必要がある。

アクティビティ関係者のコンサート誘致を意識するあまり、地域の方々への告知やアーティスト固有のファンに対する働きかけが足りなかった可能性がある。実施決定が実施4か月前だったこともあり、近隣の類似コンサートへの挟み込みや市内外の新たなターゲット層へ掘り起こしのための働きかけの時間が不足していた。余裕をもったスケジュール調整を心掛けたい。

(事業担当: 竹内恵美子)

## 令和3年公共ホール音楽活性化支援事業 国立市(支援プログラム) くにたち文化・スポーツ振興財団 くにたち市民芸術小ホール

アーティスト: Urban Saxophone Quartet(千葉一喜 小林浩子 中村優香 中村賢太郎)

マネージメント: 株式会社プレルーディオ 森恭子

ホール館長: 岩澤宏明 事業担当: 竹内恵美子 事業補助: 野坂寿行

舞台担当: 有限会社アイジャクス 原島和久(舞台音響) 木原立春(照明)

協力: 国立市教育委員会(後援) 花房優先生(国立第八小学校) 因藤佳代先生(国立第二小学校)